

## 研究会開催通知

(昭和54年2月15日～3月31日)

研究会	日	時	会場	備考
医療情報処理	2月17日(土)	14:00～17:00	大阪大学	前号参照
コンピュータ・ネットワーク	2月22日(木)	13:30～17:30	機械振興会館	同上
計算言語学	2月23日(金)	14:00～17:00	同上	同上
データベース管理システム	3月8日(木)	14:00～17:00	同上	下記参照
計算機システムの解析と制御	3月9日(金)	13:00～17:00	同上	同上
医療情報処理	3月9日(金)	10:00～17:00	大阪市立労働会館	同上
	3月10日(土)	10:00～12:00	同上	同上
記号処理	3月16日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
イメージ・プロセッシング	3月20日(火)	14:00～17:00	東大生研	同上
マイクロコンピュータ	3月26日(月)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア工学	3月29日(木)	11:00～17:00	京大	同上
	3月30日(金)	9:30～17:00	同上	同上

### ◆ 第12回 データベース管理システム研究会

(主査: 穂鷹良介, 代表幹事: 植村俊亮)

**日時** 昭和54年3月8日(木) 午後2時～5時

**会場** 機械振興会館 6階 64号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 都営1号線大門, 都営6号線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 新橋一汐谷線東京タワー, 等々力ー東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03(434)8211]

**議題** (1) 関係データベースにおけるカジュアルユーザの質問意図の解析について  
増永良文(東北大・通研)

[概要] カジュアルユーザが関係データベースに発する質問の意図をデータベースに付随する数学的意味論的制約である関数依存性, 多値従属性, うめこまれた多値従属性の情報をつかって解析するという一提案がなされている。

(2) 大学計算機センターにおけるデータベース

渡辺豊英, 村尾義和, 星野 聡(京大・大型計算機センター)

[概要] 本稿では大型計算機センター, 特に京都大学においてのデータベース管理/運用に伴う点から問題点をおこし, 大学におけるデータベース管理システムとして, そなえるべき機能などについて, データベース構築作成の立場から述べる, また将来に対するデータベースサービスの考え方も述

べる。

- (3) TSS による企業財務情報検索システム—MARK III TSR—COMPASS  
千葉恭弘 (電通・国際情報サービスシステム開発)  
〔概要〕 GE の TSS サービス MARK III による企業財務情報検索システム  
TSR—COMPASS の概要を紹介する。

#### ◆ 第 4 回 計算機システムの解析と制御研究会

(主査: 高橋延匡, 代表幹事: 亀田壽夫, 益田隆司)

- 日 時 昭和 54 年 3 月 9 日 (金) 午後 1 時～5 時  
会 場 機械振興会館 6 階 64 号室〔所在地は前記参照〕  
議 題 (1) 計算機システムの性能評価におけるモデリングと計測  
宮崎正俊, 小畑征二郎, 松沢 茂 (東北大・大型計算機センター)  
〔概要〕 多重プログラミングと多重プロセッサの性能解析のための簡単なモデル  
と計測システムについて述べる。  
(2) 資源割当ての待ち行列システムについて  
川口喜三男 (名古屋工大・情報工学)  
〔概要〕 標題のシステムに関し, これまでの 1 資源モデルを多資源の場合に拡張  
し, その上で結果と問題点を概観する。  
(3) 多重プログラミング処理の待行列モデルによる解析  
石黒美佐子 (日本原子力研)  
〔概要〕 多重プログラミング・システムを  $M/M/m$  型待行列モデルにより解析  
する。

#### ◆ 第 24 回 医療情報処理研究会

(主査: 開原成允, 代表幹事: 上野晴樹, 佐々木 陽, 飯坂讓二, 稲田 紘)

- 日 時 昭和 54 年 3 月 9 日 (金) 午前 10 時～午後 4 時  
3 月 10 日 (土) 午前 10 時～12 時  
会 場 大阪市立労働会館 2 階会議室  
〔大阪市東区森之宮東之町 534, 国鉄環状線または地下鉄: 森の宮駅より徒歩 3  
分, Tel. 06(941)6331〕  
3 月 9 日 (金)  
議 題 (1) 耳鼻咽喉科領域における病名登録の一般的手法とそのメリットについて  
平川顕名 (京大病院), 佐々木 陽 (大阪府立成人病センター)  
坂部長正 (中央鉄道病院)  
〔概要〕 現時点における大学, 大病院の病名登録システムは, まだ十分に稼動し  
ていないので, その原因を調べ, 耳鼻咽喉科領域での利用方法について述  
べる。  
(2) 病名登録の方法とその応用について 酒井俊一 (大阪回生病院)  
〔概要〕 病名登録における耳鼻咽喉科領域として, もっとも有効な方法と, 全国  
登録にまで発展させた場合の応用について発表する。  
3 月 10 日 (土)

- 議 題 (1) 全国登録に際しての問題点 今泉 敏 (近畿大・医)  
 [概要] 耳鼻科領域で過去に行われた全国登録調査 (メニエル病, 頭頸部腫瘍) における問題点とその解決法について発表する.
- (2) 病名登録の際のデータ活用について 粕谷英樹 (宇都宮大・工), 小池靖夫 (近畿大・医)  
 [概要] 耳鼻咽喉科領域における病名登録の際のデータのうち, アナログ情報 (音声, EEG, 眼振) に対する処理手法と問題点, メリット等について実例について発表する.

### ◆ 第 7 回 記号処理研究会

(主査: 淵 一博, 代表幹事: 竹内郁雄, 佐々木建昭, 田中穂積)

- 日 時 昭和 54 年 3 月 16 日 (金) 午後 1 時 ~ 5 時  
 会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 [所在地は前記参照]
- 議 題 (1) ALPS からの 2, 3 の話題 井田昌之, 森 芳喜, 河合 繁, 遠峰隆好 (青学大・理工)  
 [概要] 現システムに対する開発, 研究の状況について報告を行う. また, 現在検討中の ALPS/II のアーキテクチャおよびタイプレス言語とのリンクなどの基本概念について発表する.
- (2) SYSP の基本計算機構——新しい計算機構を求めて 横井俊夫 (電総研)  
 [概要] 開発中の SYSP (高度な構造をもつ記号系と, その処理系) の基本計算機構を紹介する.
- (3) 試作 LISP マシンとその評価 瀧 和男, 金田悠紀夫, 前川禎男 (神戸大・工)  
 [概要] 試作した LISP マシンについて, マシンの性能と実装されている専用ハードウェアの評価を中心に報告する.
- (4) LISP マシン NK III のアーキテクチャとその性能評価 長尾 真, 中島克人, 伊藤八大, 川口智弘, 三田村 敬 (京大・工)  
 [概要] LISP 専用の計算機 NK III のハード, ファーム, ソフトの詳細と NK III 上での各種プログラムの実行結果について報告する. 特に LISP 用に設計されたハード・スタックと高レベル・マクロ命令が性能向上にはたした役割を検討する.

### ◆ 第 23 回 イメージ・プロセッシング研究会

(主査: 尾上守夫, 代表幹事: 長尾 真, 白井良明, 高木幹雄)

- 日 時 昭和 54 年 3 月 20 日 (火) 午後 2 時 ~ 5 時  
 会 場 東大生研 第 3 部輪講室  
 [東京都港区六本木 7-22-1, 地下鉄: 千代田線乃木坂下車徒歩 2 ~ 3 分, 日比谷線六本木下車徒歩 5 ~ 10 分, Tel. (03)402-6231]
- 議 題 (1) 日米セミナー「画像解析および認識の定時間化, 並列化」報告 尾上守夫 (東大・生研)  
 [概要] 標記のセミナーが昭和 53 年 10 月 31 日 ~ 11 月 4 日にかけて, 東京国際

文化会館で行われた。その内容を報告する。

(2) 高速度図計処理システム

吉田真澄, 岩田 清, 桥井 猛 (富士通研究所)

〔概要〕 2値図計の高速度な処理を目的としたシステムの構成と、それを用いて実現した地図情報処理方式について述べる。

(3) インタラクティブな画像処理解析システム 花木真一 (日電・中研)

〔概要〕 リモートセンシング画像処理解析用に開発したシステムを、システム形態の発展と関連づけて紹介する。

## ◆ 第 8 回 マイクロコンピュータ研究会

(主査: 森 亮一, 代表幹事: 田島守彦)

- 日 時 昭和 54 年 3 月 26 日 (月) 午後 1 時～5 時
- 会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室〔所在地は前記参照〕
- 議 題 (1) マイコンデッキ KD-A 8 清水宏紀, 毛利智博 (日本ビクター)
- 〔概要〕 4ビット 1チップのマイコンを使い、カセットデッキのバイアス電流他 2つのパラメータを制御し、特性の改善を実現した。
- (2) インテリジェントコンポーネントとしてのマイクロコンピュータ 真弓和昭 (松下電器)
- 〔概要〕 ディスクリットロジックのおきかえとしての極めて低位のマイクロコンピュータの応用について、テレビのリモコン装置を中心としてふれる。
- (3) マイクロコンピュータ応用による計測器のインテリジェント化 本城 純 (タケダ理研)
- 〔概要〕 マイクロプロセッサを内蔵し、測定系の自動校正、測定結果の演算処理機能等を付加した、高精度デジタル電圧計。
- (4) (株)横河電機製作所におけるマイクロコンピュータ応用の現状 井上忠也 (横河電機)
- 〔概要〕 当社における MC 応用の現状を実製品への適用の面から述べ、計測と制御の分野での MC 発展の一助とする。
- (5) 山武ハネウエル(株)におけるマイクロコンピュータ応用の現状と展望 園部 忠 (山武ハネウエル)
- 〔概要〕 当社は事業部制を採用しており、これら事業部における各種製品のマイクロコンピュータの応用について述べる。

## ◆ 第 9 回 ソフトウェア工学研究会

(主査: 国井利泰, 代表幹事: 大野尙郎, 原田賢一, 齊藤信男)

- 日 時 54年 3月 29日 (木) 午前 11時～午後 5時  
3月 30日 (金) 午前 9時 30分～午後 5時
- 会 場 京都大学 数理解析研究所  
〔京都市左京区北白川追分町, 国鉄: 京都駅烏丸口下車, 市バス: 200 甲錦林車庫行京都大学農学部前下車, Tel. (075)751-2111〕
- 議 題 (1) 階層化プログラミング言語 SPL の評価

野木兼六, 中所武司, 林 利弘, 森 清三 (日立)

〔概要〕 抽象データ型やインライン手続きの定義機能をもつ階層化プログラミング言語 SPL の使用経験, 効果の分析などについて述べる.

(2) SSD の実用化における諸問題について

内田裕士, 毛利友治 (富士通研究所)

〔概要〕 ソフトウェア開発支援システム SSD を試用した経験にもとづいて, 実用化の際におこった問題点や今後の計画等を紹介する.

(3) LISP デバック・ツール

黒川利明 (東芝)

〔概要〕 対話的 LISP におけるデバック技法とツールについて, 一般的な検討をおこなうとともに INTERLIST と LISP 1.9 2 列について具体的に検討する.

(4) 情報工学における空間構法および設計の論理

大島 進 (東プログラム設計)

〔概要〕 有向族とフィルタを実体とした梯子の数学仮説と称する設計ツールを作り, 建築工学における設計仮説と要素設計論と併わせ, 空間の構成方法に関して報告する.

(5) 構造的反証原理について

謝 章文 (京都産業大)

〔概要〕 モデル構築のための記号的解法について述べる.

(6) 論理的プログラム合成と構造的反証原理

謝 章文 (京都産業大)

〔概要〕 構造的反証原理にもとづくプログラム合成方法について述べる.

(7) OL—resolution にもとづく論理的プログラム合成系・Pilot II

琴野 実, 大村伸一, 東本謙治, 馬渡幸夫, 謝 章文 (京都産業大)

〔概要〕 OL—resolution を用いた LPS の効率テストシステム・Pilot II の紹介.

(8) 構造的反証原理に基づく論理的プログラム合成系・Pilot III

大村伸一, 琴野 実, 馬渡幸夫, 東本謙治, 謝 章文 (京都産業大)

〔概要〕 構造的反証原理を用い, 誘導形会話機能を有する LPS の高効率システム Pilot III の紹介.

(9) 失態プロジェクトについて

安部城一 (日立)

〔概要〕 開発失態, 特に遅延にみいだされる実際の環境と, 現象の関係を整理し, 事前検出の一方法を提案している.

(注) 第9回ソフトウェア工学研究会にご出席予定の方で宿泊でお困りの方は学会事務局(研究会係)へお問い合わせください.

## 講習会「コンピュータ・ネットワーク技術とその応用」

### 開催のお知らせ

本学会コンピュータ・ネットワーク研究会は、その検討成果を中心にコンピュータ・ネットワークに関する講習会を過去3回開催いたしました。その後、コンピュータ・ネットワークに関する技術開発はめざましく、応用も身近になって来ましたし、標準化活動も活発に行われております。これらの現状をふまえ、研究会で活躍されている方がたを講師とした講習会「コンピュータ・ネットワーク技術とその応用」をこのたび開催する運びとなりました。会員各位におかれましては、多数参加されることを期待いたします。

日 時	昭和54年3月19日(月) 9:30~17:00	
場 所	都道府県会館別館(2階) 211(A)号室(千代田区平河町 2-6-3) 〔地下鉄(銀座線・丸の内線)・赤坂見附駅下車5分〕 〔地下鉄(有楽町線)・永田町駅下車1分〕	
参 加 費	正会員, 賛助会員(1口1人)	7,000 円
	学生会員	5,000 円
	非 会 員	11,000 円
申込締切	昭和54年3月10日(土)	
テキスト	70ページ程度のを準備いたします。	

#### プログラム

##### 午前の部(9:30~11:40)

- |                          |             |
|--------------------------|-------------|
| (1) コンピュータ・ネットワーク技術とその応用 | 猪瀬 博(東京大学)  |
| (2) 新データ網サービスとその利用法      | 高月 敏晴(電電公社) |

##### 午後の部(12:40~17:00)

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| (3) 国際データ通信のための公衆網         | 井上 誠一(国際電電)  |
| (4) ネットワークシステムの実際          | 関 泰弘(国鉄)     |
| (5) コンピュータ・ネットワークの新技术動向    | 田畑 孝一(京都大学)  |
| (6) コンピュータ・ネットワークにおける標準化動向 | 苗村 憲司(横須賀通研) |

.....切.....取.....り.....線.....

昭和54年 月 日

#### 「コンピュータ・ネットワーク技術とその応用」講習会申込書

(該当欄に○印をお付けください)

- 受講料 \_\_\_\_\_ 円(会員, 非会員)を下記により送付いたします。
- a. 現金書留      b. 銀行振込(三菱, 住友, 第一勧銀各虎ノ門支店, 三井日比谷支店), 郵便振替は時間がかかりますから, 受け付けられません。
- 申込者 氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

(注) 申込書はコピーでも結構です。

## Iverson 博士の学術講演会開催のお知らせ

APL プログラム言語の創始者である K. E. Iverson 博士が来日されるので、下記により学術講演会を行います。多数の方がたのご来聴をお待ちしております。

日 時 昭和 54 年 3 月 22 日 (木) 13: 30~16: 30  
会 場 機械振興会館 B2 大ホール  
参加費 会員, 非会員を問わず無料とします (ただし, 資料のある場合には有料頒布).  
テ ー マ APL 言語の特長と設計思想  
——背景, 設計思想, 関数と作用子, 今後の発展など——  
通 訊 竹下 亨 (日本アイ・ピー・エム)

## 昭和 54 年度会費納入と論文誌の購読について

昭和 54 年度会費を請求いたしますので、添付の振替用紙によりご納入ください。

正 会 員 費 7,200 円  
学生会員費 3,000 円 (大学院修士課程まで)

申すまでもありませんが、会費は前納を建て前としておりますので、率先してご納入いただきたく存じます。

なお、53 年度会費未納の方で、2 月末までにご納入いただけない場合には、3 月号から会誌の送付をストップいたしますので充分ご注意ください。

次に、1 月より発行された「情報処理学会論文誌」(隔月刊)は有料頒布(年間購読料、会員 4,500 円、非会員 7,800 円)となっておりますので、昨年の「情報処理」10 月号添付の購読申込書により、お申し込みください。54 年度会費と同封にお振り込みいただければ幸いです。

## 欧文誌 “JIP” のご購読について

欧文誌 “Journal of Information Processing” (略称 JIP) は、昨年 4 月に創刊されました。第 4 号は 2 月下旬に発行される予定です。購読希望の方は、第 19 巻 1 号あるいは 2 号の本欄の申込用紙をご利用のうえ、お申し込みください。

## 昭和 54 年度第 20 回全国大会について

### ——概要と論文募集——

標記第 20 回全国大会は諸般の事情で、前回大会より 1 カ月早い 7 月下旬の予定です。論文発表を希望される会員は、下記要領により、早目にお申込みください。

- 開催期日** 昭和 54 年 7 月下旬予定
- 会 場** 東京都千代田区神田周辺（次号にて日時、会場をお知らせいたします）
- 応募資格** 本学会個人会員（正会員、学生会員）に限ります。共同発表の場合には、発表者のうち 1 名は会員でなければなりません。ただし、登壇発表は 1 人 1 回に限り、54 年度会費未納の会員および非会員は、登壇発表ができません。
- 申 込 料** 特に必要としません。ただし、登壇発表される方には論文集原稿を提出される際に、必ず参加費と論文集の予約金を納入していただきます。
- 申込方法** 添付の申込用紙（1 件 1 枚）に必要事項を記入し、宛先明記の原稿用紙送付用封筒（大きさは B 5（18 cm×26 cm）のもので切手は不要）を同封のうえ、4 月 16 日（月）（必着のこと）までに下記あてにお送り下さい。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を 4 月下旬に送付いたしますので、5 月 31 日（木）までにご提出下さい。なお英文原稿も認めます。
- そ の 他** 詳細については、決定次第本欄にてお知らせします。
- 申 込 先** 〒 105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3 号室  
(社)情報処理学会 第 20 回全国大会係 Tel. 03 (431) 2808

### 講演内容

1. ハードウェア
  - a. アーキテクチャ
  - b. 入出力装置、演算、記憶部
  - c. 端末装置
  - d. マイクロコンピュータ
2. ソフトウェア
  - a. プログラム言語
  - b. プログラム処理
  - c. オペレーティング・システム
  - d. データ・マネージメント
  - e. ソフトウェア・テクノロジー
3. 数 理
  - a. アルゴリズム、形式言語理論
  - b. 数値演算
  - c. 非数値演算
  - d. 最適化法
  - e. 自然言語
4. 技術、科学への応用
  - a. パターン認識、画像処理
  - b. ロボット、人工知能
  - c. グラフィックス
  - d. CAD、デザイン・オートメーション
  - e. マン・マシン・システム
5. 社会、人文、マネジメントへの応用
  - a. シミュレーション、モデリング
  - b. 教 育
  - c. 医 療
6. コンピュータ・ネットワーク
7. 情報検索、データベース
8. 性能評価
9. 保守、信頼性
10. その他



## 情報処理学会第 20 回全国大会講演申込用紙

題 目 <sup>(注1)</sup>	
ふりがな 氏 名(所属) <sup>(注1)</sup>	申込者が複数の場合には左から右の順に記入し講演する方に○をつけて下さい。
原稿用紙送付先	(所在地) 〒  (氏 名)  Tel.
<sup>(注2)</sup> 該当項目	講 演 内 容 (概要 300 字程度)
1.	a
	b
	c
	d
2.	a
	b
	c
	d
	e
3.	a
	b
	c
	d
	e
4.	a
	b
	c
	d
	e
5.	a
	b
	c
6.	
7.	
8.	
9.	
10.	

(注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないで下さい。

(注2) 申込要領を参照し○をつけて下さい。該当項目が複数にわたる場合は、最も適合するもの1つに◎をつけて下さい。